

# 近年の水産資源と環境の変化に関するシンポジウム

平成28年12月13日 水産技術開発センター

11月28～29日に、東京大学大気海洋研究所(千葉県柏市)において、『変動期に入った日本周辺海域の漁業資源』と題したシンポジウムが開催されました。

当センターの宍道弘敏研究専門員が、本シンポジウムの企画責任者の一人として参画するとともに、『ブリの資源変動要因と近年の動向』について発表を行いました。

そのほか、スケトウダラ、サンマ、ニシン、マサバ、マイワシ、イワシ類シラスなどの近況や海洋環境の変化などについて話題提供がありました。

多くの魚種の近年の動向から、海洋環境が寒冷化に向かっている可能性が示され、水産資源や海洋環境の今後の動向を予測するうえで参考となる貴重な情報が得られました。

